

全小学校で英語科授業を



Warm up (ウォームアップ)

音楽に合わせて歌ったり、英語のリズムに親しむことにより、楽しい雰囲気づくりをします



授業の基本的な流れ (小学校)

Presentation (プレゼンテーション)

学級担任と外国人英語講師が会話をしながら、どのような学習をするのか紹介します

Practice (プラクティス)

ゲームなどの活動の中で、会話の練習をしたり、友達や学級担任、外国人英語講師とかわり合ったりします



小学校

国際空港都市として、市では英語教育に積極的に取り組んでいます。平成20年度は、全市立小学校に英語科を設置し、1年生から英語にふれる授業を実施しています。

全学年で英語科授業を実施

市では、国際教育推進特区の特例措置を活用し、平成15年度から市内公立小学校に英語科を設置し、順次、設置学校の拡充を図ってきました。平成20年度は、下総・大栄地区を含めた全小学校に英語科を設置。各校では、明確な目標の下に系統立てた英語教育が推進されています。

特に、文部科学省研究開発学校の指定を受けた成田小学校では、成田中学校とともに小中学校9年間の英語教育を推進しています。

学級担任と外国人英語講師の チームティーチングで

英語科授業は、すべて外国人英語講師が参加して行われます。1〜3年生は、20分の英語科授業を週3回、4年生以降は、20分授業を週2回、45分授業を週1回実施しています。

中学校

小学校での英語教育の 実践を踏まえて

研究開発学校として、平成20年度は、下総・大栄を除く8中学校で英語科総授業時数を拡充しています。

さらに、小学校での英語教育を中学校の英語教育に効果的につなげていけるよう「小中学校連携英語教育に関する検討委員会」を開催しています。

また、小学校同様、中学校全校に1年を通して外国人英語講師を派遣しています。

国際社会で共生していくための 資質・能力・態度の育成を

小中学校9年間で効果的な英語教育を進めることにより、子どもたちの実践的なコミュニケーション能力を伸ばします。多くの人々とのふれあいを積み重ね、さまざまな考え方や意見を受け入れることができる心の広い人材を育てていきます。

また、将来に希望を抱いて自分の進むべき道を切り開き、国際舞台で活躍できる人材を育てることを目指しています。

※くわしくは教育指導課 ☎20-1582へ。